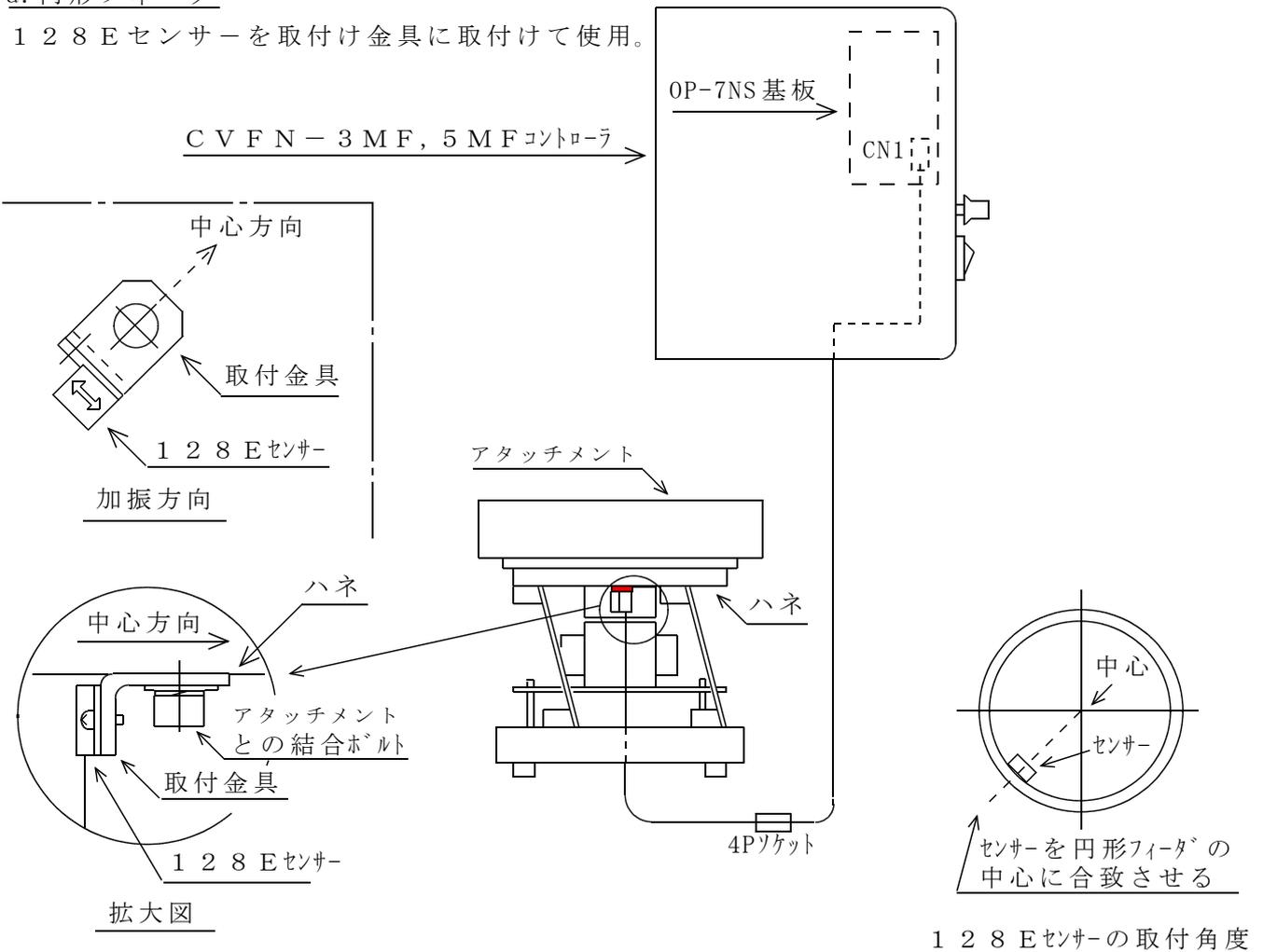
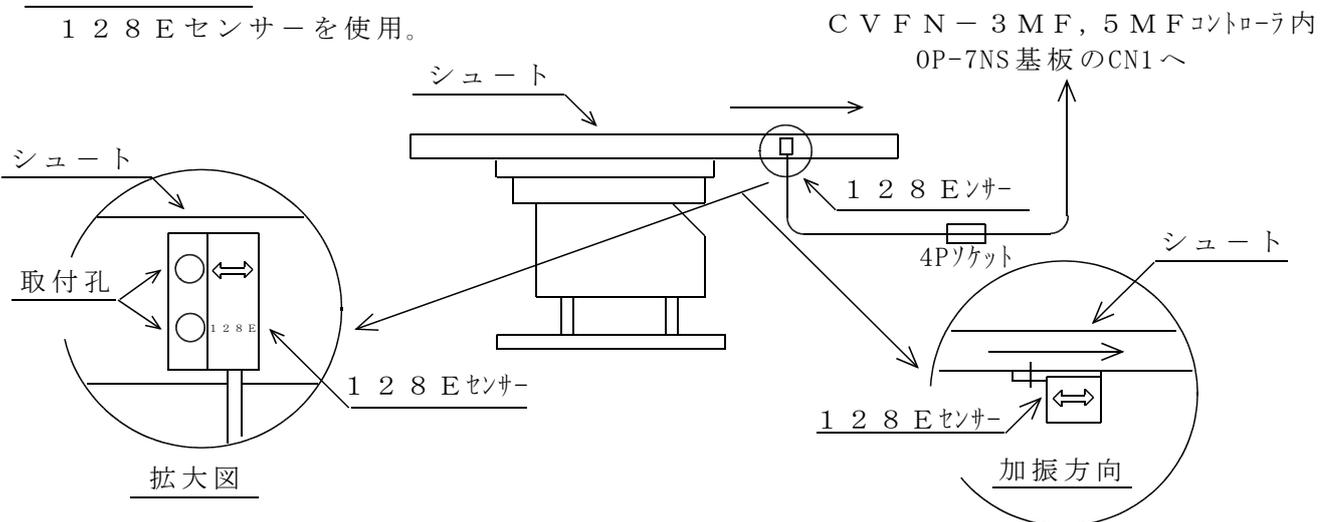
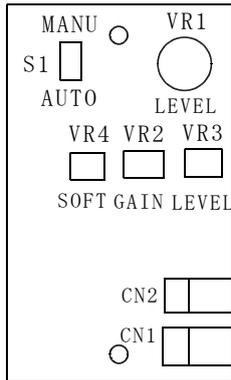
# 【ＣＶＦＮ－３ＭＦ，５ＭＦ取扱説明書】

１．センサー取付とＯＰ－７ＮＳ基板の接続図。

# ＯＰ－７ＮＳ取扱説明書

●仕様

| 取付対象コントローラ | ＣＶＦＮ－３ＭＦ，ＣＶＦＮ－５ＭＦ |
|---|---|
| 振動センサの種類 | １２８Ｅ　（アンプ内蔵型） |

●各部の名称と機能

ＯＰ－７ＮＳ基板配置図

Ｓ１：ＭＡＮＵ（手動）－ＡＵＴＯ（自動）の切替スイッチ

ＶＲ１：ＬＥＶＥＬ（レベル）微調整用ＶＲ
自動に切替えて，手動時での適正振動値に調整する為のＶＲ。

ＶＲ２：ＧＡＩＮ（ゲイン）調整用ＶＲ
自動調整時の精度調整用のＶＲ。

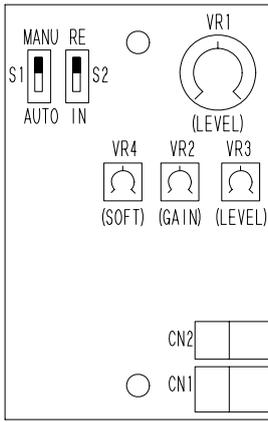
ＶＲ３：ＬＥＶＥＬ（レベル）粗調整用ＶＲ
ＶＲ１で，適正振動値に出来ない場合の調整用ＶＲ。

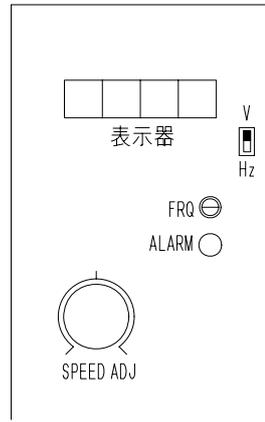
ＶＲ４：ＳＯＦＴ（ソフト）調整用ＶＲ
停止解除後の起動時間の調整用ＶＲ。

ＣＮ１：振動センサ（１２８Ｅ）の接続用コネクタ。

ＣＮ２：振動値（レベル）測定計測器の接続用コネクタ。

# 定振幅調整（ＯＰ－７ＮＳ基板）　２００Ｖ仕様

ＯＰ－７ＮＳ基板配置図

ＶＲ１：レベル微調整ＶＲ
　　出荷設定：５目盛
ＶＲ２：ゲイン調整ＶＲ
　　出荷設定：０目盛
ＶＲ３：レベル粗調整ＶＲ
　　出荷設定：５目盛
ＶＲ４：ソフトスタート調整ＶＲ
　　出荷設定：０目盛

ＣＶＦＮ-Mﾊﾟﾈﾙ配置図

| 設定順序 | ＯＰ－７ＮＳ設定 | ＣＶＦＮ-Mﾊﾟﾈﾙ設定 | 調　整　方　法 |
|---|---|---|---|
| 設定１<br>ＭＡＮＵ<br>（手動） | MANU RE S1 S2 AUTO IN<br>VR1 (LEVEL)<br>VR4 VR2 VR3<br>(SOFT) (GAIN) (LEVEL) | 表示器 0<br>V Hz<br>FRQ ALARM<br>0 10 SPEED ADJ | ＭＡＮＵ（手動）モードで基本調整（Ｈｚ側で、周波数確認）。<br>・メインＶＲ　０～１０目盛に可変、表示（Ｖ）　０～２００Ｖ<br>を確認。<br>・適正振動に設定後、メインＶＲ　１０目盛にする。<br>・表示２００Ｖ（１４０）を確認、Ｓ２をＩＮに切替える。<br>・ＬＥＶＥＬ用ＶＲ（ＶＲ１=微、ＶＲ３=粗）を調整し、表示を<br>２００Ｖ（１４０）に設定。<br>注：（１４０）数値は、低振動で使用時の設定値。 |
| 設定２<br>ＭＡＮＵ<br>（手動）<br>↓<br>ＡＵＴＯ<br>（自動） | MANU RE S1 S2 AUTO IN<br>VR1 (LEVEL)<br>VR4 VR2 VR3<br>(SOFT) (GAIN) (LEVEL) | 表示器 200<br>V Hz<br>FRQ ALARM<br>0 10 SPEED ADJ | ・Ｓ１にてＡＵＴＯモードに切替え、表示２００Ｖを確認、<br>表示値　２００Ｖ前後で設定。<br>・設定後、メインＶＲを可変し、振動に異常の有無を確認。（ハンチング等）。<br><br>設定完了 |
| 設定完了<br>ＡＵＴＯ<br>（自動）<br>記録 | MANU RE S1 S2 AUTO IN<br>VR1 (LEVEL)<br>VR4 VR2 VR3<br>(SOFT) (GAIN) (LEVEL) | 表示器<br>V Hz<br>FRQ ALARM<br>0 10 SPEED ADJ | 設定完了後記録<br>・メインＶＲ　：　目盛（適正振動時）<br>・出力電圧　：　Ｖ<br>・出力周波数　：　Ｈｚ<br>・ＶＲ１（LEVEL）　：　目盛<br>・ＶＲ３（LEVEL）　：　目盛<br>・ＶＲ２（GAIN）　：　０目盛<br>・ＶＲ４（SOFT）　：　目盛 |

◎設定上の注意

１．設定完了後に出力周波数を変えた場合は、必ず最初の設定１のＭＡＮＵ（手動）から再度、調整して下さい。

２．起動時のソフトスタートは、急激なスタートやスタート後のハンチング現象が無いようにＶＲ４を調整し、確認して下さい。

３．メインＶＲ（パネル面のＶＲ）が１０目盛時、ＡＬＡＲＭ表示灯が点滅し、表示器の数字（２００以下の数字）が不安定な表示（数字が変動）する場合は、過負荷状態なので、ギャップ調整又はコントローラ内部のＶＲ６を調整して過負荷状態を解消して下さい。